

設置（新規に設置する場合）、使用（大気汚染防止法の届け出対象外施設が政令等の改正により届出対象となった場合）、設置変更（既設施設の構造が変更する場合）の別を明確にする

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

提出日

年 月 日

岩手県知事 殿
 （ 広域振興局長）
 （ 市町村長）

盛岡市内丸10番1号

届出者 株式会社岩手県

代表取締役 岩手 太郎

TEL 019-651-3111 FAX 019-651-3111

電話・FAX番号についても記載

大気汚染防止法第18条の28第1項（第18条の29第1項、第18条の30第1項）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社岩手県 岩手工場	水銀排出施設を設置する工場又は事業場の名称を記載	
工場又は事業場の所在地	盛岡市内丸10番1号	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	8項 廃棄物焼却炉	大気汚染防止法施行規則別表第3の3の項番号と施設種類を記入すること <注> ・複数当てはまる場合は、主たる目的のものを記入する ・ばい煙発生施設と一致しない場合がある（主たる目的ではないが、水銀排出施設に該当する事業を行っている場合）	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。		
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。		
参 考 事 項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類のカラムには、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印のカラムには、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 5 参考事項のカラムに、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号 廃棄物焼却炉	大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目のいずれかを記載する。
名称及び型式		焼却炉 ○○型	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日		○年 ○月 ○日	年 月 日
規模	伝熱面積 (m ²)		・石炭ボイラーは、燃料燃焼能力欄を必ず記入する (10万 L/h で排出基準が異なるため) ・燃焼能力について、各種燃料の重油換算は次によること。 (1) 気体燃料 16m ³ → 重油 10 l (2) 固体燃料 16kg → 重油 10 l (3) 液体燃料 10 l → 重油 10 l
	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	10 m ²	
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg/h)	2,000 kg/h	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

石炭ボイラーの例

別紙 2

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号 ボイラー				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～ 24時 時間/回 回/日 28日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	なし				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	使用割合					
	原材料中の水銀等含有割合					
	1日の使用量					
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	石炭				
	燃料中の水銀等の含有割合	0.01 mg/kg				
	通常の使用量	500 t/d				
	混焼割合	100%				
排出ガス量 (m ³ /h)		湿り	最大 340,000	通常 340,000	最大	通常
		乾き	最大 340,000	通常 340,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3%				
水銀濃度 (μg / m ³)	全水銀	0.34 μg/m ³				
	ガス状水銀	0.30 μg/m ³				
	粒子状水銀	0.04 μg/m ³				
参考事項						

・代表値や平均値を記載すること。
・幅記載することでも差し支えない。

・乾きガス中の濃度 (平均的な濃度)
・水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度
・設置の届出の時点で実測値が得られない場合は、設計値でも可 (ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出)

- 備考
- 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 - 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 - 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

廃棄物焼却炉の例

別紙 2

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号 廃棄物焼却炉				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～ 24時 時間/回 回/日 24日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	なし				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラ、木くず				
	使用割合	廃プラ、木くず = 2 : 3				
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラ 0.2 mg/kg		木くず 0.2 mg/kg		
	1日の使用量	60 t/d				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	燃料中の水銀等の含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量 (m ³ / h)		湿り	最大 20,000	通常 18,000	最大	通常
		乾き	最大 16,000	通常 14,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		11.5%				
水銀濃度 (μg / m ³)	全水銀	0.34 μg/m ³				
	ガス状水銀	0.30 μg/m ³				
	粒子状水銀	0.04 μg/m ³				
参考事項						

・含有割合、1日の使用量は、単位も記入する
 ・代表値や平均値を記載すること（幅記載することでも差し支えない）
 ・事業者において水銀含有量の測定が不可能な場合は空欄でも差し支えない（例：梱包された状態での処理が求められる感染性廃棄物）

・乾きガス中の濃度（平均的な濃度）
 ・水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度
 ・設置の届出の時点で実測値が得られない場合は、設計値でも可（ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出）

- 備考 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の大気排出規制に効果があると
考えられる排出ガス処理設備について
記載（例 電気集塵機、スクラバー）

水銀等の処理施設の工場又は事業場 における施設番号		処理施設 1			
処理に係る水銀排出施設の工場又は 事業場における施設番号		1号 廃棄物焼却炉			
水銀等の処理施設の種類、名称及び 型式		ろ過式集塵機 O型			
設 置 年 月		年 月 日	年 月 日		
着 手 予 定 年 月		○年 ○月 ○日	年 月 日		
使 用 開 始 予 定 年 月		○年 ○月 ○日	年 月 日		
処 理 能 力	排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大 20,000 通常 18,000	最大 通常	
		乾き	最大 16,000 通常 14,000	最大 通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160°C		
		処理後	145°C		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3%		
	水銀濃度 (µg/m ³)	全水銀	処理前	3.8 µg/m ³	}
			処理後	0.34 µg/m ³	
		ガス状 水銀	処理前	3.0 µg/m ³	
			処理後	0.30 µg/m ³	
	粒子状 水銀	処理前	0.80 µg/m ³		
処理後		0.04 µg/m ³			
捕集効率 (%)	全水銀	91%	}		
	ガス状水銀	90%			
	粒子状水銀	95%			
使 用 状 況	1日の使用時間 及び月使用日数等	0時～ 24時 時間/回 回/日 24日/月			
	季節変動	通年			

・乾きガス中の濃度（平均的な濃度）
・施設の構造上の理由などにより測定が不可能な場合においては、「処理前」「捕集効率」の欄は空欄でも構わない
・既存施設で水銀濃度の測定実績がない場合は、処理後欄は空欄でも構わない。ただし、施工後の定期測定結果を踏まえて、変更届を提出する。

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理証の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。

添付書類

1 水銀排出施設の構造概要図

バーナーの燃焼能力、伝熱面積等、主要寸法を記載したもの。

2 水銀等の処理施設の構造仕様書及び構造図

- (1) 水銀等の処理施設の処理能力等を説明する構造仕様書
- (2) 主要寸法を記載した構造図

3 排出ガス処理系統図

排出ガスの排出方法を説明するもの

4 水銀排出発生施設及び水銀等の処理施設の設置場所を明らかにした図面

当該施設の工場等内における位置を示す平面図と付近の見取図（地図上に示してもよい）

5 水銀等の発生及び水銀等の処理に係る操業の系統の概要を示す書類

操業の系統図（いわゆるフローシート）。

6 排出ガスの測定個所を明らかにする図面

測定口の位置、大きさ、足場の状態等を記入のこと。適当な図面があればそれに図示することによって代えてもよい。

7 その他、水銀の排出に関係のある事項を記載した書類（ある場合のみ添付）

水銀測定結果（別紙2に測定値を記載した場合）など